

盛岡の先人教育とは

「盛岡の先人教育」とは、各教科や道徳、総合的な学習の時間などの全教育課程の中で、原敬や新渡戸稲造、米内光政などの盛岡にゆかりのある先人の生き方を学ぶことをとおして、次代を担う子どもたちに「将来の夢」や「ふるさと盛岡に対する愛着」、「目標に向かって努力する心」を育むことをめざした教育です。

～キャッチフレーズ～

盛岡の子どもたちに「夢」と「誇り」と「志」を

- ◇夢 将来に対する希望。実現したいという願い。自分のめざす理想。
- ◇誇り 自分や自分のふるさとに対する愛着。自信。
- ◇志 目的や信念をもって実現に向けて努力しようとする決意。

第1期推進計画 平成19年度～平成26年度

これまでの主な取組

- (1) 盛岡の先人を取り上げた授業の実践
- (2) 先人が生きた時代や思いに触れる体験
(先人カレンダー・小中学生俳句短歌大会・先人ゆかり給食など)
- (3) 教員を対象とした研修や講座の開催

成果

- ◇全小中学校を委託研究校に指定し、地域の実態に応じた特色のある実践が行われ、児童生徒が先人の生き方を学ぶことができた。
- ◇「先人カレンダー」の掲示、「小中学生俳句短歌大会」「子どもと話そう～親子の架け橋・一筆啓上～」 「啄木かるた大会」などの取組が定着してきた。
- ◇教員を対象に先人教育研修会や公開講座・出前授業などを行うことにより、先人教育に対する理解を深めることができた。

課題

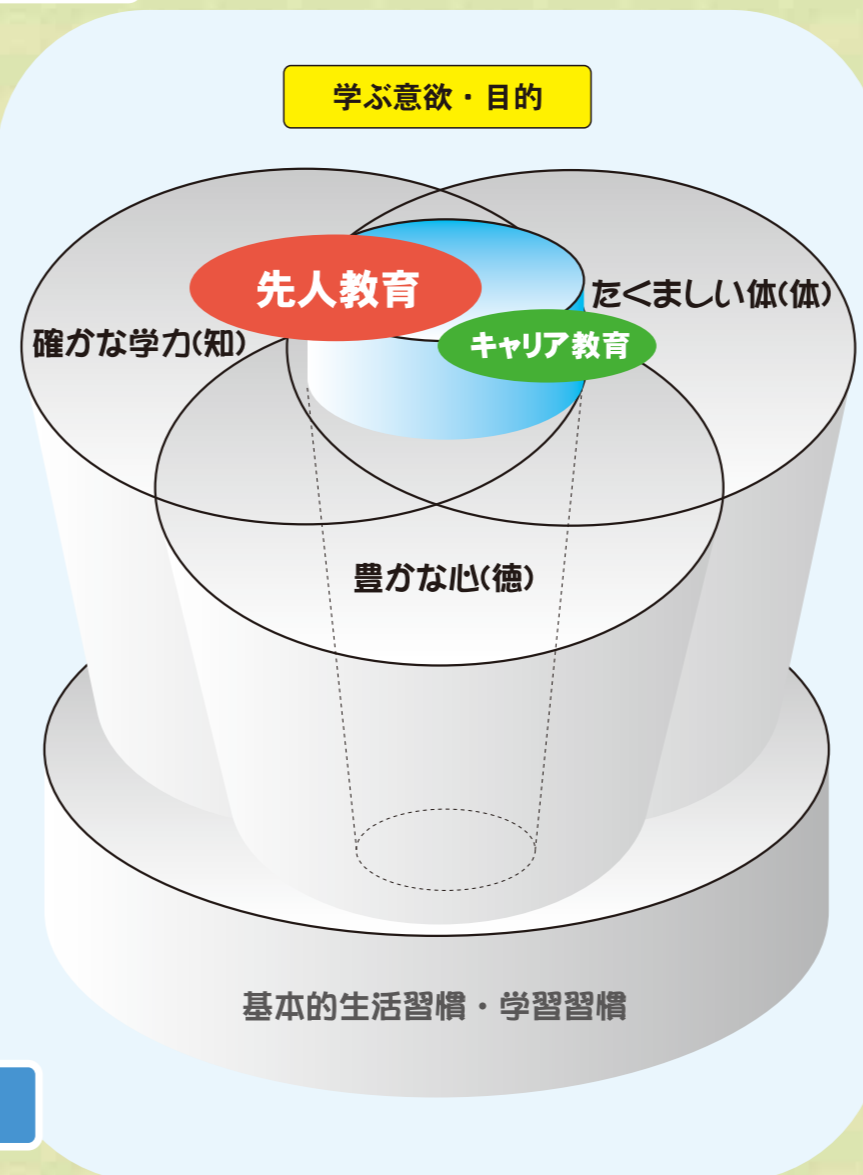
- ◇小学校での学びと中学校での学びに重複が見られるため、小中学校が連携した取組が必要である。
- ◇教科の特性を生かしながら、各教科などの中で効果的に実践をしたり、朝読書や委員会活動など教育活動と関連させたりする取組は十分とはいえない。
- ◇全国学力・学習状況調査の質問紙調査結果から、「自分にはよいところがあると思う(小中学校)」「難しいことでも恐れなくて挑戦する(中学校)」の項目で、全国をわずかに下回っていることから、今後も先人教育を充実させ、児童生徒の意識を高めていく必要がある。

今後の方向性

小中9年間の系統性を踏まえた「盛岡の先人教育」の実践の充実

学校教育の中の「先人教育」

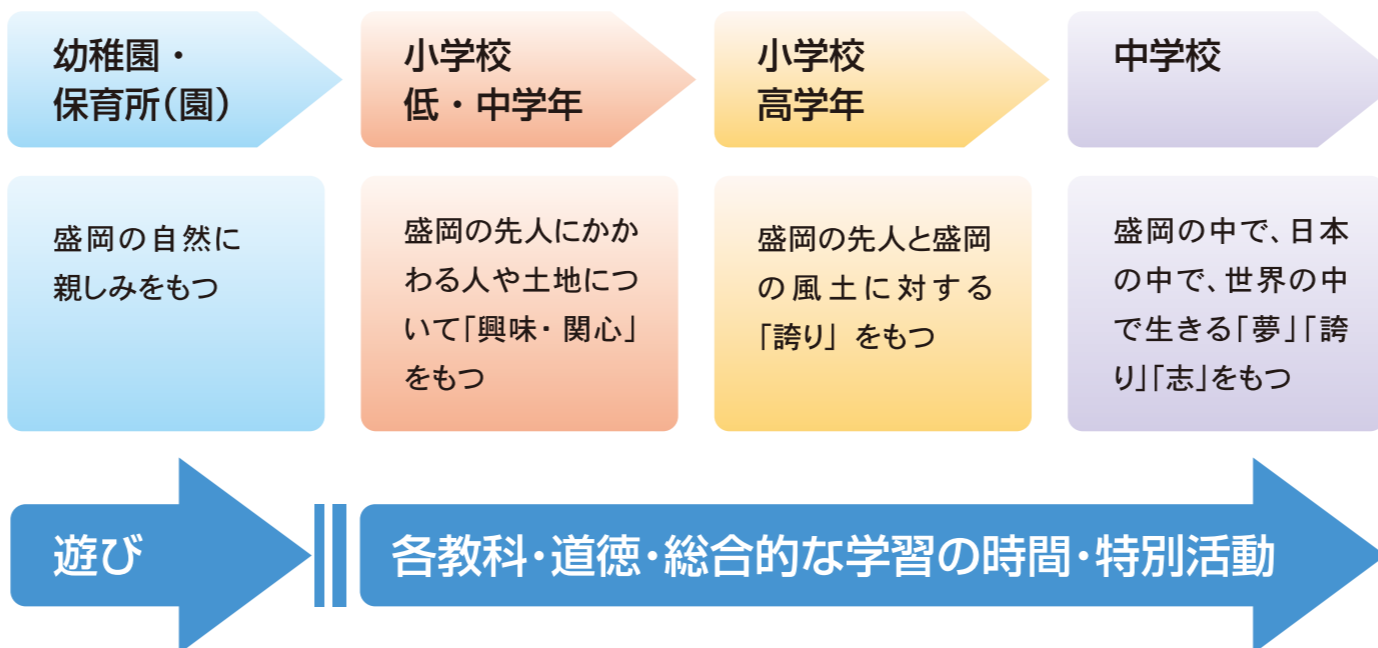
盛岡市の学校教育は、「基本的生活習慣・学習習慣」を土台としながら「確かな学力(知)」「豊かな心(徳)」「たくましい体(体)」の3つの力をバランスよく育むことをめざしています。
この3つの力を伸ばすための根幹となる「学ぶ意欲・目的」を高めていくために重要な役割を果たすものが「先人教育」になります。



めざす子ども像

発達段階に応じためざす子ども像を次のように設定しました。

～平成19年作成資料に幼稚園・保育所(園)を追記～



第2期推進計画 平成27年度～平成36年度

盛岡の先人を取り上げた授業

学校が取り組むこと

- ◇小中一貫教育の視点を踏まえた先人の生き方を学ぶ授業に取り組みます。
*「先人教育全体計画」及び「先人教育の視点を位置付けた年間指導計画」の整備と実践

教育委員会が行うこと

- ◇各学校の先人教育に関する授業を支援します。
*各記念館の館長や学芸員による「先人教育」に関する講話などの実施
- ◇各学校で実践した指導案やワークシート等を活用できるように環境を整えます。
*資料の収集と提供(データベース化)

先人の時代や思いに触れる体験

学校が取り組むこと

- ◇先人カレンダーの掲示や「先人を学ぶコーナー」を設置するなど、先人に関する環境を整えます。
- ◇「小中学生俳句短歌大会」「子どもと話そう～親子の架け橋・一筆啓上～」 「啄木かるた大会」に取り組みます。

教育委員会が行うこと

- ◇先人たちの写真や主な経歴を掲載した「先人カレンダー」を作成します。
- ◇「小中学生俳句短歌大会」の入賞作品集を発行します。
- ◇盛岡市学校栄養士会と協力して、先人にゆかりのある献立を作成し、「先人ゆかり給食」を実施します。

教員を対象とした研修の実施

教育委員会が行うこと

- ◇夏休みや冬休みに「公開講座」を実施します。
- ◇各学校の研修会への支援(「出前講座」)を実施します。
*盛岡市先人記念館、原敬記念館、石川啄木記念館などと連携した講話などの実施